

# 平成26年度決算 市議会が審査・認定

## 分科会審査

3つの常任委員会の所管(2~3ページを参照)に準じる各分科会ごとに、歳入・歳出の全決算項目について審査

### 企画総務分科会

- ハザードマップさんだ作成事業費について、地域の危険箇所の実情は地域が把握しており、避難行動要支援者への対応も含め、地域版ハザードマップの作成をしていただくよう引き続きその啓発を進めてください。
- 市民病院の医師の確保については積極的な招聘活動を、また看護師の確保については採用と育成に引き続き努めていただきたい。また厳しい経営状況を勘案し、入院患者の個室の稼働率を少しでも上げるよう方策を講じてください。
- 「水道お客さまセンター」の民間委託によって、

収納率の向上と人件費の削減が図られ1500万円もの効果額があったが、引き続き他の分野についてもサービス向上につながる民間委託化を模索してください。

- 下水道水洗化100%の目標に対し、昨年度は411戸増で水洗化率は1%増に留まっている。未水洗化戸数が1180件残っていることから、1%でも向上できるよう、さらなる啓発を積極的に取り組んでください。



### 福祉教育分科会

- 保育所運営費保護者負担金において、現年度分保育料の未収がないように取り組まれているが、滞納繰越は毎年出ていることから、その対策の一つとして保育料の収納を各保育園に委託することを検討してください。
- 国保財政が厳しい中、医療費の伸びも予測がつかない現状だが、平成30年度からの国保財政の都道府県化までの間、医療費を抑制するなどあらゆる方策を講じるとともに、健全財政の堅持に計画的に取り組んでください。
- 部活動をしているバス通学の中学生は、バスの時

刻に合わせて部活動を早く切り上げるなどの制約が多い。可能な限り便数を減らさず、生徒の都合のよい時間帯に運行するようバス事業者と引き続き協議をすすめてください。

- 国民健康保険税滞納者に対し資格証を発行するにあたっては、さまざまな事情があってやむなく滞納している市民がいることを念頭において、相談があれば短期証を発行できるよう対応に努めてください。



### 都市環境分科会

- 連節バスは現在のところ関西随一の運行で、利用者は前年度比2割増しの状況であること、一度の輸送量も多く待ち時間解消にも寄与するなどのアピールポイントをシティセールス戦略の一つとして活用してください。
- 合葬墓の導入については、これまでも検討するとの回答があったが、お墓に関わる市民の考え方が変容する中、早い段階に実現できるようスケジュールを立て、具体的な取り組みをすすめてください。
- クリーンセンターの焼却炉は改修工事により延命

をしてきているが、直近の平成21年から23年にかけての大規模修繕以降、既に5年が経過しているため、早急に建替え計画を策定するなど精力的に取り組んでください。

- 「せいもんまつり」が「あきんどまつり」に名称変更されて久しいが、まつりの賑わいが失われ、駅前商店街も覇気がない。商工会に補助金を支出する以上は、市もリーダーシップを発揮して能動的に取り組んでください。



議長と監査委員を除く議員が委員を務める予算決算常任委員会での予算が適正に使われたかどうかを詳細に審査します。

26年度決算については、9月24日に企画総務、25日に福祉教育、28日に都市環境の各分科会で個別審査を、29日の全体会で総括質疑を行い、30日に表決しました。

## 全体会(総括質疑)

委員が属する6つの会派が、全ての決算に関して質疑・要望し、答弁を求める。

議 = 議員 市 = 市長・市職員

### 【市民の会】

議 先の台風による避難勧告で各市民センターに開設された避難所、対応に不備が見られた。改善に向け今後検証されるのか。

市 対応にあたった職員への聞き取りを行った。今後は防災訓練の機会などに避難所開設のHUG研修なども充実させ、運営マニュアルを作成したい。

### 【新政みらい・維新】

議 雇用の創出、創業支援について、中小企業振興長期資金、三田市小規模事業資金融資あっせん制度などがあるが、いずれも条件に「市内で同一事業を6か月以上営む中小企業」とあり、新しい事業を展開したい若い世代が対象にならない。融資条件の見直しをすべき。

市 どのような方法で対応できるか研究していく。

### 【日本共産党三田市議団】

議 公民館の市民センター化について、現在公民館を利用している団体の移行にあたっては備品の置き場等にも配慮しながら丁寧に説明し、誠意をもって対応すべき。

市 平成28年度のセンター化に向け準備している。9月の説明会でも登録グループの皆さんからご要望等をいただいた。今後も十分ご意見をお聞きしながらすすめる。

### 【盟政会】

議 光回線未整備の地域がいくつかある。民間業者はこれ以上のエリア拡大は考えていないようだが、市民生活向上の一環として早く市が対策すべきと考えるが。

市 未整備の地域は3地区ほどあり、見積もったところ約1億円ほどが整備に必要となるが、大事なインフラ整備であるので、市でしっかりと対策を考えていきたい。

### 【公明党】

議 妊婦さんがアドバイスを受けたい時にワンストップで相談できる窓口を設置すべき。相談を受け付け、他の窓口や医療機関につなげられるような窓口の実現を望む。

市 地域戦略プランの中で、新たな子育て施策についてプロジェクトを立ち上げ研究したい。ワンストップで悩みに答える窓口は選択肢の一つとして検討する。

### 【無会派の会】

議 三田市と鳥羽市が友好都市であることは、市民にあまり認知されていないように思う。市庁舎の1階に、友好都市のブースを計画してはどうか。

市 新庁舎ができた時に友好都市を紹介するブースを設けたいと、すでに鳥羽市に申し入れており、展示物などを現在検討していただき設置の方向で進めている。

## 10月臨時会で採決

平成26年度決算案件10件について議員からの反対・賛成討論があり、結果は、予算決算常任委員会の表決結果と同様に、一般会計決算1件が賛成多数で、その他の9件が全員一致で認定されました。

### 委員会での表決

平成26年度決算案件10件は、予算決算常任委員会で審査し、議員からの反対意見、賛成意見が表明された後に、表決しました。一般会計決算1件が賛成多数で、その他の9件については全員一致で認定と表決されました。



### 反対討論

●マイナンバー制度導入の問題点として個人情報保護が国民監視などに恣意的に利用される懸念がある中、情報漏えいを防ぐ完全なシステムの構築は不可能である。市費の持ち出しの負担も非常に多い。

●社会教育施設である図書館に、営利を目的とする株式会社の指定管理を導入したことは認められない。「TRCに任せずに市の責任で選定」と改正条例に謳われている選書に1次選定から市職員が関わっていないのは、条例違反といわざるを得ない。(日本共産党 長尾明憲)

### 賛成討論

●マイナンバーは身分証明書として使われ、コンビニの設置端末から簡単に住民票の写しなどを入手できるようになるなど市民にとって利便性が高い。サイバー攻撃などから情報を保護するため、情報の一元化を避けるなど様々な対策が講じられている。

●指定管理化後の図書館は、開館日や時間の拡大、飲食しながら読書ができるカフェスペース設置など、直営時にはなかったサービス拡充が利用者からも好評である。選書は、直営時と同様のスキームで指定管理者が選定したものを市が内容確認し、計画的に購入を行わせている。(公明党 平野菅子)